

鹿児島市及び連携中枢都市圏3市の市民活動団体のご紹介

本当にいいものを漫画によって広めていく



マンガプロジェクト鹿児島
四元 重美 (よつもと・しげみ)

歴史や偉人に興味を持ったキッカケが「漫画」だったという人も多いだろう。小学校の教科書や行政の広報誌にも広く漫画が登場し、市民権を得ている。一方、民間企業でも広告に漫画を活用し業績を上げるなど、その効果に多くの人が気付きはじめてきた。

鹿児島で漫画を通じた広告・広報業務を営んでいるマンガプロジェクト鹿児島の四元重美(よつもと・しげみ)さんに話を聞いた。

漫画を活用して、効果的な販促を

当法人では、漫画を通して企業や団体の販促活動をサポートをしています。主にパンフレットやチラシ、ホームページなどですね。自らの活動を知らせたいがなかなかうまく伝えられず困っている、などの相談にお応えしています。また、「かごしま漫画クロデミー賞」という漫画のコンテストを主催し、過去7回にわたって実施してきました。鹿児島は黒豚、黒牛、黒酢、黒糖など「黒」の文化が盛んですよね。その「黒」をテーマにした漫画を全国から募集しています。クロデミー賞は若手の育成も兼ねています。小・中学生が興味を示してくれて、トライしてもらえると嬉しいです。

私自身は、広告会社に5年ほど勤め、その後独立したのですが、お客様にもっと有効な広告ツールを提供したいと常々思っていました。その中で、漫画と広告は親和性が高いということに気づいたのです。そこで、中小企業家同友会という経営者団体で同業仲間3名に声掛けし、任意団体としてスタートしたのが10年前です。

立ち上げて3年目くらいにクロデミー賞を初めて開催しました。きっかけは、鹿児島には「モノ」さえ良ければ売れると思っている人が多いと感じたからです。商品第一主義で、広告や情報発信にあまり力を入れていなかった。たとえ良いものでも伝え方が下手だと売れないのです。そもそも知らないものは買いようがないのです。その壁を何としても突破したいという思いから、このイベントをスタートさせました。

目立つ、分かりやすい、面白い

現在20名ほどのメンバーがいますが、チームの強みは、60歳前後のベテランと若手の混合チームであるということです。ベテランの経験値と人脈、そして30代の若い感性と行動力を掛け合わせると、実に面白いコンテンツが出来上がります。

漫画の特徴は「目立つ、分かりやすい、面白い」の3点です。現代は、20、30年前と比べて情報量が10倍とも20倍ともいわれます。それは、SNSなどに代表されるように情報技術の進歩がもたらしたものです。一方で、人間の情報処理能力は1割もアップしていません。そうになると、人は関係ない情報はスルーするのです。だからこそ、「目立つ、分かりやすい、面白い」という要素が必要なんです。

絵が持つ情報量は文字の7倍と言われます。伝えたいことを言葉と絵をミックスして漫画にする。漫画にはストーリー性がありますから心を動かす力があるのです。今後は、漫画にますます注目が集まると思っています。

隠れている漫画家を掘り起こしたい

若手のメンバーは、ほとんどが会社勤務なので、十分な創作時間を割けません。しかし、それでは企業や行政の要望に応えられない。そこで、これからは本業としてやっていける、食べていける人を増やすため、漫画活用の市場をもっともっと広げていきたいです。

また、クロデミー賞は私たちマンガプロジェクト鹿児島が単体で行なっていますが、もっといろんな団体を巻き込みたいという想いがあります。鹿児島の「黒」文化に携わる人、興味を持つ人はたくさんいるはず。その人たちを巻き込んで、業界を超えてクロデミー賞を運営できたらいいですね。そうした取り組みが大きくなると、鹿児島県内にいる隠れた漫画家さんたちの目にも留まるはず。そうやって仲間を増やしていきたいです。

マンガプロジェクト鹿児島 団体概要

<活動内容>

- ①企業や団体の広報・販促ツールの制作
(漫画を活用したパンフレットやチラシ、
広報誌、ホームページなど)
- ②販促および広報に関する企画、コンサルティング
- ③かごしま漫画クロデミー賞の企画
- ④企業向け販促セミナー
- ⑤漫画家の発掘および企業とのマッチング
- ⑥子ども向け漫画教室などの教育事業

<課題への取り組み>

- ①サブカル文化に関する評価をアップさせること
- ②他の団体とのコラボ強化
- ③補助事業主体から委託事業受託への転換
- ④行政との関係強化

<今後の展望>

鹿児島を産業マンガ王国にすること。鹿児島は食のメッカでもあります。鹿児島の基幹産業の一つである「食」の分野で漫画を使うようになると、鹿児島により興味を持つ人が増え本県の活性化につながります。この流れを確立することで他県にも波及させ、ひいては国の発展にもつなげられると考えています。

また、漫画家が地元で暮らしながら生活のできる環境づくり、仕事づくりを図り生活基盤を安定させたいです。

- ▷名称：特定非営利活動法人マンガプロジェクト鹿児島
- ▷代表者名：理事長 四元 重美
- ▷会員数：20名
- ▷主な事業：広告・広報分野におけるマンガ活用の企画・提案
- ▷連絡先：070-5410-5329

